

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	ロンドン議定書国内対応事業費等	事業開始年度	(※別添「事業概要」参照)	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境保全対策課	課長 瀬川 俊郎		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「海洋基本計画」、 「油汚染事件への準備及び対応の対応のための国家的な緊急時計画について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海洋環境に係る諸問題については、ロンドン条約、マルポール条約、OPRC条約(油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約)やバラスト水条約等、国際的な対応を求められているものが多く、PICES(北太平洋の海洋科学に関する機関)や条約の関連会合に出席し、国際的な動向を把握するとともに、海洋環境問題に対して、適切に対応していくことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海洋環境に関する条約に関連する国際会議に参加するとともに、各々の条約に対応するための事業を実施している。各々の予算事項の詳細については、別添に記載する。					
実施状況	<p>①「PICES年次会議開催等経費」:環境省職員とともに韓国で開催された第18回PICES年次会合に出席し、我が国の施策に有意義な情報収集支援を行った。</p> <p>②「ロンドン議定書国内対応事業費」:海洋投入処分量の削減に向け、専門家による検討会を運営し、削減のための処置について検討するための情報収集を行った。</p> <p>③「海洋汚染対策規制基準設定等調査費」:事業者から申請のあった未査定液体物質について、環境省が行う審査を情報の収集・整理により支援した。</p> <p>④「油汚染対策国内対応事業費」:環境省が行う脆弱性沿岸海域図の整備を支援するために、新たな地理情報システムを用いた概念設計案の提示及び情報収集を行った。</p> <p>⑤「バラスト水条約対応基礎調査費」:バラスト水条約の国内担保に向けた作業のための情報収集を行うとともに、環境省が実施した5件のバラスト水処理装置の審査のために情報の収集及び整理を行った。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	61	70	45	44	
	執行額	60	53	43		
	執行率	99%	76%	96%		
	総事業費(執行ベース)	60	53	43		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業の遂行にあたり、事業者に対して適宜対面、メール及び電話による指示を行うとともに、報告を受けている。また、検討会の開催前等には、事業者と打ち合わせを行っており、業務の把握水準は十分可能。				
	見直しの余地	事業の調達時、競争参加資格を設定する際は、業務の履行を担保する観点から見て、最低限かつ合理的なものとする。応札者を増やし、より実質的な競争性を確保するように努める。また、「ロンドン議定書国内対応事業費」等の各事業の予算事項を統合することで、契約本数の見直しを図り、事業の合理化を目指す。				
予算監視の所見・効率化等						
補記						

環境省
43百万円

【目的等】
海洋環境に関する条約について、
国際的な動向を把握するとともに、
海洋環境問題に対して適切に対応
していく。

【少額随意契約・請負】

A. (財)地球・人間環境
フォーラム
0.8百万円

有害液体物質評価支援
調査業務
【内容】
・有害液体物質に関する
専門家の会合である
GESMAMP会合での
情報収集

【一般競争入札・請負】

B. 株式会社環境計画
研究所
3百万円

マルポール条約付属書
II及びバラスト水条約
対応調査業務
【内容】
・未査定液体物質の有害
性の評価及び分類
・バラスト水装置の審査
の補助

【少額随意契約・請負】

C. (社)環境情報科学セ
ンター
0.7百万円

ばら積み国際調査業務
【内容】
・IMOにて有害液体物
質の評価を行っているE
SPH会合での情報収集

【少額随意契約・請負】

D. 日本NUS株式会社
0.6百万円

ロンドン議定書締約国会
合会合期間会合への支
援業務
【内容】
・海洋肥沃化に関する
会合期間作業部会での
情報収集

【少額随意契約・請負】

E. 株式会社環境科学
コーポレーション
0.5百万円

海洋投入処分制度検
討のための分析業務
【内容】
・海洋投入処分等の判
定基準の変更にあたり
採取したサンプルの分
析

【一般競争入札・請負】

F. 日本NUS株式会社
35百万円

海洋環境保全に係る国
際動向への対応調査業
務
【内容】
・廃棄物の海洋投入処
分に係る審査の補助
・海洋投入処分の課題
二関する検討会の開催
・ロンドン条約関連会合
での情報収集
・MEPC会合等でのバ
ラスト水条約に係る情報
収集
・PICES会合での情報
収集

【少額随意契約・請負】

G. 日本NUS株式会社
0.9百万円

地球海洋環境アセス
メント(GMA)運営委員
会への支援業務
【内容】
・地球海洋環境アセス
メント(GMA)運営委員
会での情報収集

【少額随意契約・請負】

H. 株式会社環境科学
コーポレーション
0.4百万円

廃棄物(建設汚泥)海
洋投入処分のサンプリ
ング調査業務
【内容】
・建設汚泥の海洋投入
処分を許可した事業者
より採取したサンプル
の分析

【少額随意契約・請負】

I. 日本NUS株式会社
1百万円

海洋施設の海洋投入処
分方法に係る情報収集
及び整理業務
【内容】
・海洋施設廃棄に係る
情報収集及び検討会の
開催

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者
 について記載す
 る。使途と費目
 の双方で実情
 が分かるよう
 に記載)

A. (財)地球・人間環境フォーラム			F. 日本NUS株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	有害液体物質支援調査経費	0.8	雑役務費	海洋環境保全に係る国際動向への対応調査経費	35
計		0.8	計		35
B. 株式会社環境計画研究所			G. 日本NUS株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	マルポール条約附属書Ⅱ及びバラスト水条約対応調査経費	3	雑役務費	海洋環境アセスメント運営委員会への支援経費	0.9
計		3	計		0.9
C. (社)環境情報科学センター			H. 株式会社環境科学コーポレーション		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ばら積み国際調査経費	0.7	雑役務費	廃棄物海洋投入処分のサンプリング調査経費	0.4
計		0.7	計		0.4
D. 日本NUS株式会社			I. 日本NUS株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国際会合支援経費	0.6	雑役務費	海洋施設の海洋投入処分方法に係る情報収集経費	1
計		0.6	計		1
E. 株式会社環境科学コーポレーション					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	海洋投入処分制度検討のための分析経費	0.5			
計		0.5	計		0.0